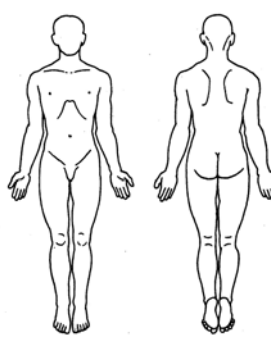


ア 個別の教育支援計画の事例

学 年	3	フリガナ 名 前		保護者名	
住 所				連絡先	
担任名	作成期日 年 月 日 改訂期日 年 月 日 (年度途中の変更は朱書き)			連絡先	特別支援学校 082 - -

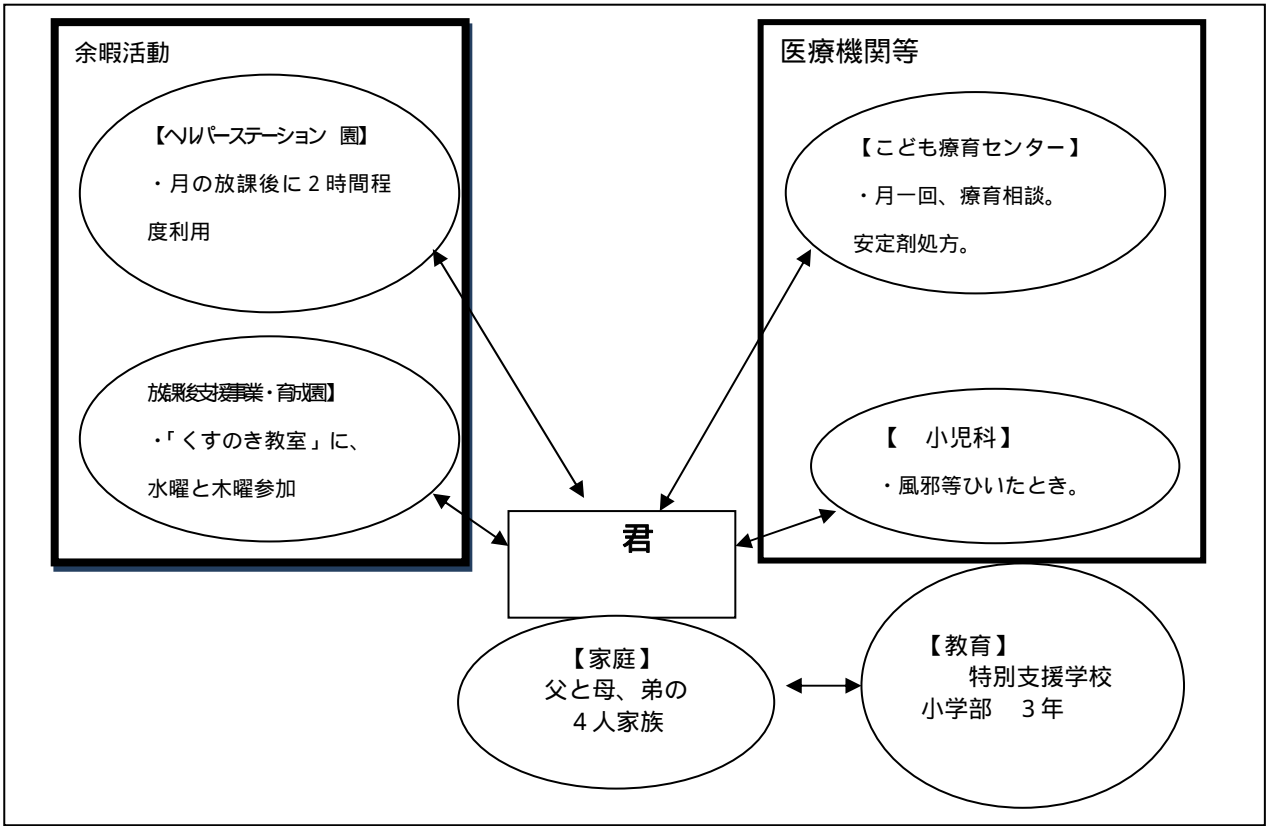
1 障害と健康の状況 必要な項目をチェックし、それらについて記入します。

	状 況 と 課 題	小学部卒業時期の目標
現在の健康状態 (手術、脱臼、変形、萎縮、麻痺、 感覚等については、身体部位に をして記入) 発達検査の記録 (本校以外で実施したもの) 現在の健康状態 (疾病等) てんかん発作 服薬 食事制限 運動制限 アレルギー ()	睡眠障害あり/安定剤服用 服薬 ワッサーV、メラトニン ・薬がないと、夜寝られない。寝ないと機嫌が悪い。 	・規則正しい睡眠を、8時 間程度は取れるようになる。

2 現在、利用している支援機関の連携先や利用状況 必要な項目をチェックし、それらについて記入します

	利用状況	支援内容・回数	支援機関(担当者) 連絡先も明記	今後受けたい支援
生活・地域支援	ショートステイの利用 ヘルパーの利用 入浴サービス 就労・生活相談 その他	ガイドヘルパー利用 週1回、スクールバス下車 から、散歩。公園で遊んだ 後、自宅まで歩いて帰宅。	ヘルパーステーション 園 () 082-	ショートステイに登録してい るが、まだ利用していない。 今後のことも考えて、利用を 計画したい。
余暇支援	移動介護の利用 社会参加事業の利用 サークル活動へ参加 地域活動行事へ参加 他の福祉制度の活用 その他	放課後支援事業「くすの き教室」に週2回参加	療育園 () 082-	体操教室など、受け入れてく れるところを探したい。 母親が働きたいので、放課後 の過ごし方を検討したい。
健康・医療・その他の支援	通院 (定期的、病気になったとき) リハビリ 訓練 (PT、OT、ST等) 装具・支援機器 (車いす・ウォーカー等) 福祉生活用具 訪問看護 その他	風邪や発熱のとき	小児科082-	

3 支援マップ



4 週間スケジュール (現在の状況)

日々の生活の流れや、加わった支援、困っていることへの具体的な支援希望があれば、備考欄にも記入します							
時	月	火	水	木	金	土	日
7	7:30起床	7:30起床	7:30起床	7:30起床	7:30起床		
8	8:00スクールバス乗車	8:00スクールバス乗車	8:00スクールバス乗車	8:00スクールバス乗車	8:00スクールバス乗車		
9							
12			放課後支援事業			10:00 ~ 11:00 起床	10:00 ~ 11:00 起床
15	ガイドヘルパー「園」2H		「くすのき教室」4H	放課後支援事業「くすのき教室」3H		・家で過ごす	・家で過ごす
18		・家で過ごす			・家で過ごす		
20	19:00 ~ 食事・入浴	19:00 ~ 食事・入浴	19:00 ~ 食事・入浴	19:00 ~ 食事・入浴	19:00 ~ 食事・入浴		
22	23:00 ~ 24:00 就寝	23:00 ~ 24:00 就寝	23:00 ~ 24:00 就寝	23:00 ~ 24:00 就寝	23:00 ~ 24:00 就寝		
備考	(週・月・年単位など、定期的なスケジュールも記入) ・月一回こども療育センター受診 ・福祉サービスをうまく利用したい。			今後の対応	・福祉サービスの利用については、5月のケース会議にて、担任が園と相談。 ・体操教室については、担任が情報を提供。		

5 本人の特性や行動について 個別の指導計画へも記入

好きなこと、興味関心の強いこと

- ・部屋でTVを見たり、ブロック遊び等をして過ごしたりすることが多い。
- ・散歩をするのが楽しみ。
- ・アンパンマンが大好き。

苦手なこと、配慮しなければいけないこと

- ・次の見通しが立たないと不安になる。短い見通しは立つので、具体物やカード等で、次の活動を事前に知らせておく。
- ・自分の思いがうまく伝えられなかったり、不安になったりするとパニックを起すことがある。周囲の大人に爪を立てるなど他傷行為に至ることもある。
- ・安心できるスペースを確保しておく、そこに行って落ち着こうとする。

6 本人・保護者の希望と願い
優先課題の順に、3つくらいまでに絞る。ポイントは、自立、社会参加、就労

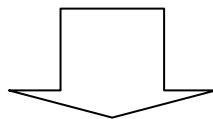
現在の願い（小学部卒業時をイメージします）	将来の願い（高等部卒業時をイメージします）
1. イライラして他傷したり、パニックになったりすることが増えたので、落ち着いて過ごしてほしい。 2. 衣類の着脱が、一人でできるようになってほしい。ボタンかけなどもできるようにしたい。 3. 睡眠を、毎日8時間以上とれるようになってほしい。	1. 作業所で、何かやりがいのある仕事を見つけ、継続して働くようになってほしい。 2. できれば、親元から自力通所できるようにしたい。
・余暇（放課後や休日）の過ごし方 ・身辺自立 ・睡眠のバランス ・心身の安定 ・食事のバランス など	・誰と生活するか（親族、グループホームなど） ・働くこと（一般企業、作業所など） ・余暇の過ごし方 など

7 今年度末に実現したい姿 個別の指導計画へも記入

a イライラして他傷したり、パニックになったりすることなく、落ち着いて過ごすことが増える。

b 自分のやりたいことを、具体物やカードで、5つ以上伝えることができる。

c 衣類の前後を意識して、通学着と体操服の着替えができるようになる。



・個別の指導計画に移行させる内容は、どの項目に移行させるかを明記

8 支援目標

a 具体物やカード等で次の活動を伝え、次の活動の見通しが立てられるようにする。 (自立活動/環境の把握)	b 児童が、自分の要求を、具体物やカード、身振り等で伝えられるよう、見本を示し、段階的に援助を減らして自発を促す。 (自立活動/コミュニケーション)	c 着替えコーナーに手順を示す写真を貼り、課題分析の結果に基づいて、段階的に援助を減らしていく。 (日常生活の指導・支度)
---	---	--

上記7.の各項目が、個別の指導計画の「長期目標」になり、それを学期ごとの短期目標に小分けして、年度末での達成を目指します。

児童生徒氏名〔

・個別の指導計画に移行させる内容は、どの項目に移行させるかを明記

9. 連携の記録 ケース会議については、別途様式に詳しく記入

	期日	連携先及び担当者	状況と課題	具体的支援内容 (学校での取り組みには)
具体的な内容	平成20年 5月20日	放課後支援事業育成園「くすのき教室」 主任 ヘルプステーション 園 社会福祉士	・見通しが立たない場面で、パニックを起こしたり、他傷に至ったりすることがある。 ・意思伝達の方法が定着していない。	具体物やカード等で次の活動を伝え、短い見通しが立てられるようにする。 自分の要求を、具体物やカード、身振り等で伝えられるよう、見本を示す。 (個別の指導計画、自立活動に明記)
	平成20年 5月20日	ヘルプステーション 園 社会福祉士	・福祉サービスの利用を増やしたい。 ・母親が就職を希望。今後の放課後の過ごし方について検討したい。	・スクールバスから自宅までのガイドヘルパー利用を週1回増やし、月に1回程度ショートステイ利用を検討する。開始時期は保護者と相談する。
				誰が、いつ、どの期間支援するか等を記入

総合所見

イ 特別支援学校の事例1：単一用（小学部3年）

個別の指導計画 年間目標と1学期の目標 小学部 3年 組 氏名〔 〕

④個別の教育支援計画や学期ごとのあゆみ（成績表）と関連。共通の課題に取り組み。

特徴となる性格や行動 好きなこと、興味関心の強いこと ・部屋でTVを見たり、ブロック遊び等をして過ごしたりすることが多い。 ・散歩をするのが楽しみ。 ・アンパンマンが大好きで、絵本をよく見ている。		苦手なこと、配慮しなければいけないこと ・次の見通しが立たないと不安になる。 ・自分の思いがうまく伝えられなかったり、不安になったりするとパニックを起すことがある。周囲の大人に爪を立てるなど他傷行為に至ることもある。 ・安心できるスペースを確保しておく、そこに行って落ち着こうとする。		各種検査から見た重点課題 行った検査/KIDS 表出言語はまだ無いが、理解言語や概念が育ってきている。カードや具体物等の提示で見通しを立てさせることが必要。	総合評 ○日常生活の中で、ひとつ先くらいまでの簡単な見通しを持ち、落ち着いて生活することができる。 ○自分の思いや要求を、身振りや具体物、カード等で表現しようとする事ができる。	総合評価 ○ひとつ先までのスケジュールであれば、具体物やカード等で示すことにより、落ち着いて次の活動に移る場面が増えた。 ○自分の要求や思いを伝える手段が分かってきて、遊びたいカードを自分から選び、教師にクレーンで指差し要求する場面もあった。
--	--	--	--	--	---	--

指導時間	項目	児童の実態	1年間の目標 (3学期は、最終目標なので、検討して変更も可能)	1学期の目標 (3学期は年間目標と重なるので、削除可能)	具体的な取り組み	評価 (3学期は年間の評価を記入)	来学期の目標 (3学期は来年度の目標)	
日常生活の指導	支度 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 整理	・衣類の前後や表裏の意識は無いが、一人で脱ぎ着することができる。	・教師の促しにより、衣類の前後を確認して、通学着と体操服の着替えができるようになる。	・教師が並べた衣類を、手順表に従って脱ぎ着することができる。 ・広げてある服の印を確認して、表裏を確認して着ることができる。	着替えコーナーに手順を示す写真を貼り、課題分析の結果に基づいて、段階的に援助を減らしていく。	・一人で手順表を見ながら取り組むことは難しかったが、言葉がけにより、手順や表裏をいしきることができた。	・着替えコーナーに向かい、手順表を見ながらの着替えの工程が、半分程度一人でできるようになる。	
	排泄 <input type="checkbox"/> 排泄の予告 <input type="checkbox"/> 手順	・トイレになかなか行きたがらないが、排泄の間隔は長くなってきた。(2時間に1回程度)	・予定表を確認し、自分からトイレに行くことで定時排泄が定着する。	・予定表でトイレに行くことを教師と一緒に確認したら、8割以上の確率で、落ち着いて移動することができる。	・トイレカードを個人の予定表に貼り、生活の流れとしての定着をはかる。トイレカードの次に、楽しい活動を設定し、見通しをもって活動できるようにする。	・予定表でトイレカードを確認すると、スムーズに移動できるようになってきて、失敗が少なくなった。	・予定表でトイレに行くことを教師と一緒に確認したら、自分から落ち着いて移動することが定着する。	
	朝の会 帰りの会	<input type="checkbox"/> 役割 <input type="checkbox"/> 見通し	①児童の実態を把握し、年間目標を立てる。年間目標に応じた各学期ごとの目標を立て明記。その具体的取組みと評価を保護者に示しながら、次の学期の目標を設定。					
	給食	<input type="checkbox"/> マナー <input type="checkbox"/> 食器の使用						
国語	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 見る	・生活用品についての意識は薄いだが、好きな食べ物の名称などはよく覚えている。 ・簡単な物語であれば、興味をもって聞かせることができる。	・日用品に意識を向け、靴、靴下、ズボン、パンツ等10品以上の名称が分かるようになる。 ・教師の話を聞いて、お話の大きな動作や印象的な部分を、身振り、手振りで表現することができる。	・靴と靴下、帽子の名称が分かり、「〇〇持ってきて。」の指示に対し、正確に持つことができる。 ・教師の身体表現を見ながら、教師の促しにより大きな動作の部分や印象的な部分をまねたり、声を出すことができる。	・絵カードや具体物を用意し、言葉とのマッチングをはかる。日常動作と名称の一致がしやすいように、ジェスチャーを加えて伝える。 ・△さんなりの動作や音声を認めながら、言い添える形で、動作とともにはっきりした発音で聞かせ、主体的に人や動きにかかわろうとする気持ちを育てる。	・教師のジェスチャーを見て、指示されたものを正確に持ってこれることができた。言葉だけでは確率が8割程度。 ・模倣することは難しかったが、教師の動きをよく見て、楽しそうに声を出して見ていた。教師が手を添えて、一緒に動きをしようすると、自分で動かそうとする様子があった。今後は、効果音なども活用し、動きを引き出す。	・靴と靴下、帽子の名称を確実にすると共に、箸とスプーン、フォークの名称が分かるようになる。 ・教師の身体表現を見ながら、教師の促しにより大きな動作の部分や印象的な部分をまねたり、声を出すことができる。(継続)	
算数	<input type="checkbox"/> 数量概念	・5つの食べ物を、5つの皿に一個ずつ入れることができる。	・1対1対応で対応させた結果、余った方、足りない方を意識し、余った方を教師に渡すことができる。	・同じ数ずつの物において、教師の見本を見て、色々な1対1対応の方法が分かり、指示通りに対応させることが確実にできる。	・瓶と蓋など日常生活の必然性のあるものから、皿とスプーンなど、形状だけでは1対1対応になりにくいものに变化させ、色々な対応の仕方を経験させる。	・個人のスケジュール表で、手順や次に対応させるものを提示することにより、落ちついて取り組む傾向ができた。同じ数ずつ物が並べてある状態であれば、確実に対応させることができた。	・対応させるものの方を、沢山ある中から、自分で取り出して対応させることが確実にできる。	
音楽	<input type="checkbox"/> リズム <input type="checkbox"/> 楽器の操作	③各指導時間での、児童生徒の指導内容を明記。また、今後考えられる複数の教育課程に対応し、児童の実態等と検討して柔軟に変更、設定する。						
体育	<input type="checkbox"/> 身体の動き <input type="checkbox"/> 調整力							
図画工作	<input type="checkbox"/> 手指の操作 <input type="checkbox"/> 道具の使用							
生活単元学習	<input type="checkbox"/> 見通し <input type="checkbox"/> 判断							
遊びの指導	<input type="checkbox"/> 意思伝達 <input type="checkbox"/> 他者意識							
特別活動	<input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善	6区分、26項目のうち、必要なもののみ記入。あとは削除。						
自立活動	健康的保持							
	心理的な安定	・活動の見通しが持てなかったり、自分の思いが伝えられないときなどは、情緒が不安定になりやすい。	・自分から決められたスペースに向かい、落ち着いてから活動に復帰できるようになる。	・気持ちが不安定になったときには、小スペースで落ち着くことが分かり、教師の促しに対し、小スペースへ移動することができる。	・不要な刺激のない静かな小スペースを設置する。写真カードで場所を確認し、できるだけ自分の意思で移動できるよう、言葉がけをしたり、身振りで伝えたりする。	・小スペースが落ち着けるスペースであるということが分かり、教師の促しに対し、自分から移動することが定着した。しばらくして教師が促すと、活動に参加できるようになった。	・気持ちが不安定になったときには、教師の促しに対し、小スペースのカードを教師に手渡してから移動することができる。	
	人間関係の形成	<input type="checkbox"/> 他者との関わり <input type="checkbox"/> 集団への参加						
	環境の把握	・指示待ちであることが多い。	・ひとつ先位までのスケジュールを理解して活動することができる。	・個人の予定カードで、教師と一緒に次の活動を確認して行動することができる。	・個人の予定表を準備し、活動がイメージしやすい絵や写真カードを提示する。活動の前には、スケジュールを確認するようにし、予定確認の定着をはかる。	・名前カードを予定表に入れることで、自分のスケジュールを確認することが定着しつつある。	・名前カードを渡されたら、自分でカードを予定表に入れ、次の予定を教師と一緒に確認することができる。	
身体の動き	<input type="checkbox"/> 姿勢と運動 <input type="checkbox"/> 日常生活の基本動作							
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの受容と表出	・自分の思いや要求を相手に伝えることができず、大声を出したり、他傷に至ることがある。	・自分のやりたいことを、具体物やカードで5つ以上伝えることができる。	・3枚までのカードの中から、自分のやりたい遊びのカードを、選んで教師に手渡すことができる。	・要求ボードを準備し、児童の好きな遊びの写真カードを掲示しておく。遊びたい物のカードを選び、教師に渡したら遊べるという形を定着させる。	・アンパンマンの音楽絵本と立体絵本が気に入り、カードをよく選んでいた。	・カードを渡して、自分のやりたい遊びを2つ以上伝えることができる。	

ウ 特別支援学校の事例2：重複用（小学部4年）

個別の指導計画 年間目標と1学期の目標

小学部 4年 組 氏名〔 〕

④個別の教育支援計画や学期ごとのあゆみ（成績表）と関連。共通の課題に取り組み。

特徴となる性格や行動		各種検査から見た重点課題	総合課	総合評価
好きなこと、興味関心の強いこと ・車などのおもちゃが好きで、自分から手を伸ばして取るうとすることがある。 ・人との関わらうことが好きで、特に穏やかな人とのふれあいを好む。	苦手なこと、配慮しなければいけないこと ・体温調整が難しい（左右差なし）ので、こまめに体温を計ったり、水分補給や衣類の調節が必要。 ・側湾が進行しつつある。姿勢保持が課題。緊張が強いので、刺激には配慮が必要。	行った検査/KIDS 友だちとのかかわりでも、周りの大人の判断を待つ場合がしばしばあるので、できるだけ自分の意思表示が出るようにする。		

指導時間	項目	児童の実態	1年間の目標 (3学期は、最終目標なので、検討して変更も可能)	1学期の目標 (3学期は年間目標と重なるので、削除可能)	具体的な取り組み	評価 (3学期は年間の評価を記入)	来学期の目標 (3学期は来年度の目標)
日常生活の指導	支度 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 整理	・教師の支えによるあぐら座位の状態、服を首まで脱ぎ、服の裾を持たせると、自分で裾を引っ張って脱ぐことができる。	・教師の支えによるあぐら座位の状態、手の近くにある上着の裾を持ち、自分で裾を引っ張って脱ぐことが5割の確立でできる。	・教師の支えによるあぐら座位の状態、手が服の裾に触れる程度の位置から、ゴムで結んである服の裾を自分で裾を引っ張って脱ぐことができる。	・握りやすくするために、裾をゴムで結ぶ。 ・手に服の裾を触らせ、すぐ近くにあるということを伝えることで、具体的な目当てを持てるようにする。	・時間はかかるが、手首を動かしながら諦めずに取り組んでいた。 ・本人に聞いて、支援を求めようであれば、裾を持たせるようにした。一人でできるのは4割程度。姿勢保持が課題。	・教師の支えによるあぐら座位の状態、手の近くにある上着の裾を持ち、自分で裾を引っ張って脱ぐことが8割以上の確立でできる。
	排泄 <input type="checkbox"/> 排泄の予告 <input type="checkbox"/> 手順						
	給食 <input type="checkbox"/> 姿勢 <input type="checkbox"/> 偏食	・牛乳が苦手で、ほとんど飲まない。	・牛乳を、100ml程度飲むことができる。	・牛乳を、30ml程度飲むことができる。	・飲みやすくするため、とろみで調節する。 ・好きな物を励みに、少しずつ飲むように勧める。	・好きな物の前には、牛乳を飲むように仕向けたので、1回の飲む量は僅かでも、飲む回数が増えた。	・牛乳を、60ml程度飲むことができる。
生活単元学習	<input type="checkbox"/> 見通し <input type="checkbox"/> 判断 <input type="checkbox"/> 意思伝達 <input type="checkbox"/> 他者意識 <input type="checkbox"/> 模倣、見立て <input type="checkbox"/> 簡単なルールや役割意識	・興味のあることに対して、音声模倣をしようとすることがある。 ・簡単な物語の内容は理解しており、興味をもって見聞きすることができる。	・お話を聞いて、内容の印象的な部分において、音声模倣を自分からしたり、楽しい気持ちを声を音声や動きで表現することができる。	・教師の身体表現を見ながら、教師の促しにより印象的な部分の音声をまねたり、声を出すことができる。 ・楽しい気持ちを音声や身体をゆするなど、動きで表現することができる。	・△さんなりの動作や音声を認めながら、言い添える形で、動作とともにはっきりした発音で聞かせ、主体的に人や動きに関わろうとする気持ちを育てる。	・模倣することは難しかったが、教師の動きをよく見て、声を出そうしたり、声を出したりして、見聞きしていた。	・教師の身体表現を見ながら、教師の促しにより印象的な部分の音声をまねたり、声を出すことができる。 ・楽しい気持ちを音声や身体をゆするなど、動きで表現することができる。 (→継続)
遊びの指導		・ボールつかみゲームでは、始まりの合図があるまで待ち、自分の好きな赤色のボールを取ることを楽しみに、何度も手を伸ばしていた。 ・終わりの合図があっても、つかもうとしているボールが取れるまで続けようとすることが多い。	・友だちのリクエストした色のボールを取り、同じ色の籠に入れることが40秒に1個の割合でできる。 ・終わりの合図がしたら、自分からゲームをやめることができる。	・友だちのリクエストした色のボールを取ることができる。 ・終わりの合図のあと、教師の促しによりゲームをやめることができる。	・同じチームの友だちに、取って欲しいボールの色をリクエストを聞いたり、友達の番のときに自分も取って欲しいボールの色をリクエストしたりして、友だちとのやり取りの楽しさを味わわせる。 ・始めの役割分担で、終わりの合図やルールを全員に伝える役割を任せ、終了の意識を持たせるようにする。	・普段あまり話すことのない友達に対して、始めは緊張していたが、次第にとって欲しいボールを聞くことが楽しみになり、リクエストの色を真剣に探す様子が見られた。 ・自分が全児童の前でルールを伝えたことが意欲になり、教師が促すと、以前よりも早くやめるようになった。	・友だちのリクエストした色のボールを取り、同じ色の籠に入れることが1分に1個の割合でできる。 ・終わりの合図のあと、教師の促しによりゲームをすぐにやめることができる。
特別活動							
自立活動	健康の保持 <input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善						
	環境の把握 <input type="checkbox"/> 保有する感覚の活用 <input type="checkbox"/> 認知や行動						
	身体の動き <input type="checkbox"/> 姿勢の保持	・ロールマットを抱えた状態又は机に両手を置いた状態のあぐら座位が5秒程度できる。	・ロールマットを抱えた状態又は机に両手を置いた状態のあぐら座位が1分程度できる。	・ロールマットを抱えた状態又は机に両手を置いた状態のあぐら座位が20秒程度できる。	・座位を安定させるため、傾斜付きクッションを使用し、前傾姿勢を保持しやすくする。 ・座位のまま、絵やおもちゃを見せ、前方に意識を向けやすくする。	・本人の好きなキャラクターを用意することで、無理なく前方に意識を向けることができた。 ・あぐら座位を毎日取り入れたことにより、力が抜けやすくなった。10秒程度は、ほぼ毎日行うことができた。	・ロールマットを抱えた状態又は机に両手を置いた状態のあぐら座位が20秒程度できる。(→継続)
	補助的手段の活用 <input type="checkbox"/> 補助的手段の活用	・ウォーカーで移動するが、スピード調整が難しい。 ・前方を見て進むことが難しい。	・少し前を見ながら、ゆっくりとすすむ事を意識し、10m程度前進することができる。	・少し前を見ながら、ゆっくりとすすむ事を意識し、3m程度前進することができる。	・緊張が強いので、できるだけ静かな環境で行う。 ・少し前方に好きなおもちゃを置き、視線を前方に意識を向けやすくする。	・前方に意識を向けたことで、姿勢も安定し、ゆっくりと5m程度移動できるようになった。	・少し前を見ながら、ゆっくりとすすむ事を意識し、10m程度前進することができる。
コミュニケーション	言語の受容と表出 <input type="checkbox"/> 言語の受容と表出	・日常の身近な会話程度であれば、大体的ことは理解できる。 ・緊張が無い状態であれば、「はい」「行く。」などが比較的明瞭に話すことができる。	・友達との関わりにおいて、自分の意思表示をすることができる。「はい」「行く」「イヤ」	・友だちとの関わりにおいて、嫌な時、してほしくないときに、教師の促しにより、教師と一緒に「イヤ」と言うことができる。	・一緒に伝えることで、安心感を持たせる。 ・教師とシミュレーションを行い、友達に話しかけられたときにどうすればよいかなどについて話し合っておく。	・まだ、教師の顔をうかがうことが多いが、促せば、自分の言葉で伝えることができるようになってきた。	・友だちとの関わりにおいて、嫌な時、してほしくないときに、教師の促しにより、自分ひとりで「イヤ」と言うことができる。
	コミュニケーションの手段と選択 <input type="checkbox"/> コミュニケーションの手段と選択	・緊張が強かったり、疲れているときには、眼球の動き(縦振りがYes、横振りがNo)で知らせることが多い。	・手元のバーを引っ張れば、「はい」「いや」の音声が分かること、バーを操作して伝えることができる。	・バーの使い方に慣れる。	・手元のバーは、赤が「はい」青が「いや」と言うように決め、緊張の緩まっているときに、意図的に練習に取り組む。	・発音しようとする力が入るので、疲れているときなどは、本人も使いたいと要求していた。	・手元のバーを引っ張れば、「はい」「いや」の音声が分かること、バーを操作して伝えることが大体できる。

①児童の実態を把握し、年間目標を立てる。年間目標に応じた各学期ごとの目標を立て明記。その具体的取組みと評価を保護者に示しながら、次の学期の目標を設定。

③各指導時間での、児童生徒の指導内容を明記。また、今後考えられる複数の教育課程に対応し、児童の実態等と検討して柔軟に変更、設定する。

6区分、26項目のうち、必要なもののみ記入。あとは削除。

②KIDS（乳幼児発達スケール）等、各種発達検査の客観的なデータから導き出された重点課題を、個別の指導計画の目標に明記し、指導に反映させる。



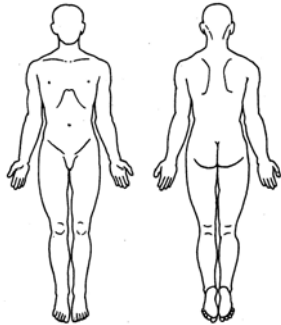
個別の教育支援計画 A - 1

フリガナ 名 前		生年 月日		性別	
フリガナ 保護者名		転入学 年月日		年 月 日	
現住所	(〒 -)				
療育手帳	無・有 () 自閉症		判定年月日 (年 月 日) 次期更新年月日 (年 月 日)		
身体障害者 手 帳	無・有 ()級・ 障害名 ()		交付年月日 (年 月 日)		
その他の 手 帳	無・有 ()				
重度障害者 医療費 受給者証	無・有 公費負担者番号 () 受給者番号 ()		交付年月日 (年 月 日) 有効期限 (年 月 日)		
健康保険証	種別 () 記号 () 番号 () 世帯主 ()		交付年月日 (年 月 日) 有効期限 (年 月 日) 事業所名 ()		
家 族 構 成	続柄	名 前	生年月日	自宅	
	本 人		年 月 日	(- -)	
	父		年 月 日		
	母		年 月 日		
			年 月 日	連絡先の名称 続柄 不在時 (- -)	
			年 月 日	連絡先の名称 続柄 不在時 (- -)	
			年 月 日	連絡先の名称 続柄 不在時 (- -)	
療 育 ・ 教 育 の 状 況	【幼児期】 園に3年在籍				
	【 】				
	【 】				

秘

個別の教育支援計画 A - 2

児童生徒名 []

児童・生徒の実態	着脱 ・自立 ・一部介助 ・全介助 食事 ・自立 ・一部介助 ・全介助 排泄 ・自立 ・一部介助 ・全介助 移動 ・自立 ・一部介助 ・全介助 障害介助				身体状況 (手術・脱臼・変形・萎縮・麻痺・感覚等について身体部位を で示し、記入してください) 				
	コミュニケーション・言語								
	医療的ケア ・吸引・吸入 ・経管栄養 ・胃ろう腸ろう ・気管切開 ・導尿 ・その他 ()								
	配慮事項 疾病等								
てんかん発作	(有 ・ 無)								
	発作の状態								
	発作の対応								
	発作後の対応								
常備・常用薬	薬品名		服用量		服用する回数(1日 回 朝昼夕)		備考		
体温 血液型	体温 (平熱)			血液型 (A ・ B ・ AB ・ O)型 RH (+ ・ -)					
かかりつけの医療機関	診療科		医療機関名		住所		電話番号		主治医
訓練機関	訓練機関名			住所		電話番号		担当者	



個別の教育支援計画 A - 3

年 月 日記入

児童生徒名	
-------	--

部 年

現住所	(千 -)	アパート・マンション名
	区 町 番 号 ()	
	丁目 番地 (- -)	

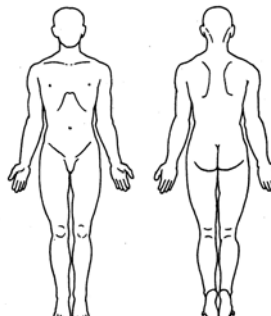
住居付近の略図			
	略図記入上の注意	1 自宅を赤で囲む。 2 登下校でいつも通る道を、赤線で記入する。 3 初めての者が訪ねて行っても、すぐわかる建物等の目印となる物を記入する。	

通学方法	交通機関記入例 (徒歩, バス, 市内電車, JR, 自家用車, スクールバス等)				
		区 間	方法 (交通機関等)	所要時間	
	自宅学校	自宅	から まで		分
			から まで		分
			から まで		分
			から まで		分
			から まで		分
送迎者名			本人との続柄		

個別の教育支援計画 B

学 年		フリガナ 名 前		保護者名	
住 所				連絡先	
担任名	作成期日 年 月 日 改訂期日 年 月 日 (年度途中の変更は朱書き)			連絡先	特別支援学校

1 障害と健康の状況 必要な項目をチェックし、それらについて記入します。

	状 況 と 課 題	小学部卒業時の目標
現在の健康状態 (手術、脱臼、変形、萎縮、麻痺、 感覚等については、身体部位に をして記入) 発達検査の記録 (本校以外で実施したもの) 現在の健康状態 (疾病等) てんかん発作 服薬 食事制限 運動制限 アレルギー ()		

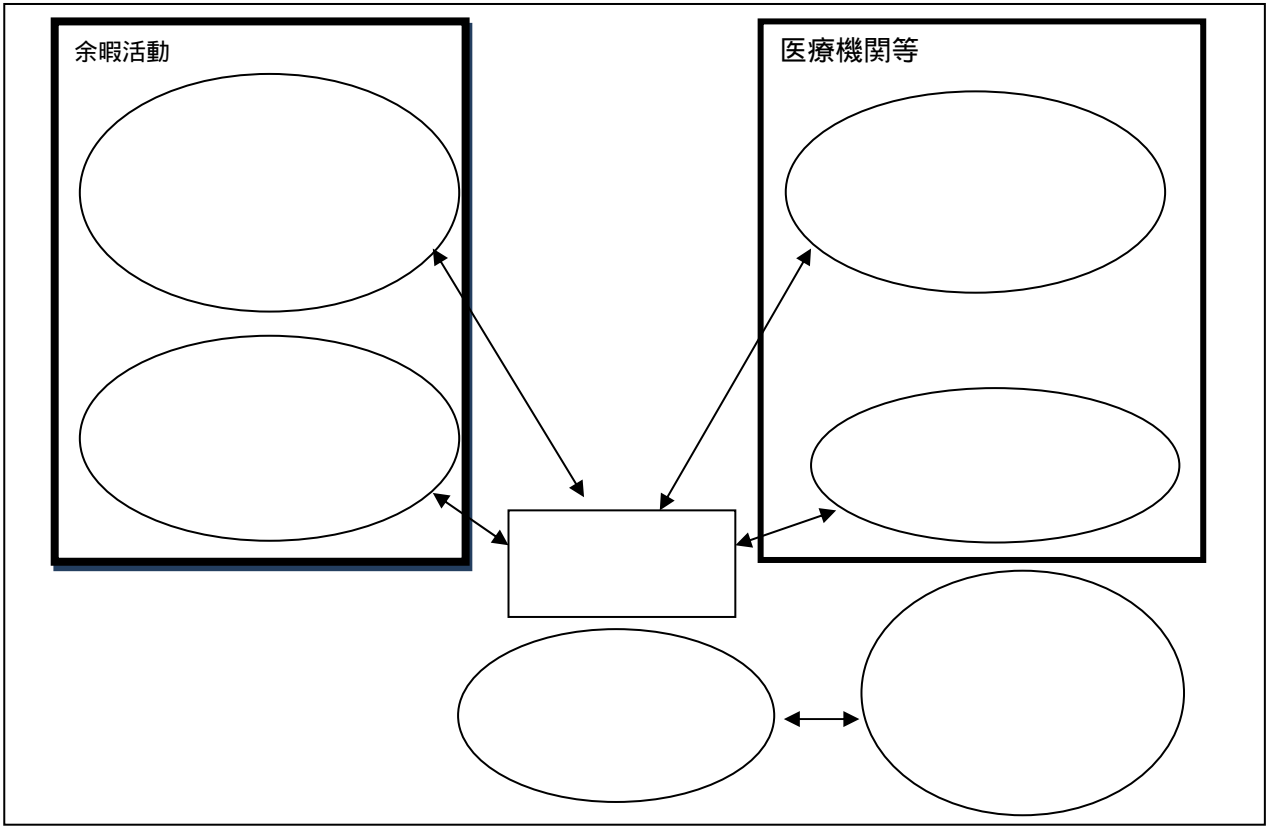
2 現在、利用している支援機関の連携先や利用状況 必要な項目をチェックし、それらについて記入します

	利用状況	支援内容・回数	支援機関(担当者) 連絡先も明記	今後受けたい支援
生活・地域支援	ショートステイの利用 ホームヘルパーの利用 入浴サービス 就労・生活相談 その他			
余暇支援	移動介護の利用 社会参加事業の利用 サークル活動へ参加 地域活動行事へ参加 他の福祉制度の活用 その他			
健康・医療・その他の支援	通院 (定期的、病気になったとき) リハビリ 訓練 (PT、OT、ST等) 装具・支援機器 (車いす・ウオーカー等) 福祉生活用具 訪問看護 その他			

児童生徒氏名〔

〕

3 支援マップ



4 週間スケジュール（現在の状況）

日々の生活の流れや、加わった支援、困っていることへの具体的な支援希望があれば、備考欄にも記入します

時	月	火	水	木	金	土	日
7							
9							
12							
15							
18							
20							
22							
	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝		
備考				今後の対応			

児童生徒氏名〔 〕

5 本人の特性や行動について 個別の指導計画へも記入

好きなこと、興味関心の強いこと

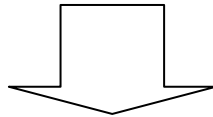
苦手なこと、配慮しなければいけないこと

6 本人・保護者の希望と願い
優先課題の順に、3つくらいまでに絞る。ポイントは、自立、社会参加、就労

現在の願い（小学部卒業時をイメージします） 将来の願い（高等部卒業時をイメージします）

7 今年度末に実現したい姿 個別の指導計画へも記入

--



8 支援目標

--

--

--

児童生徒氏名〔 〕

9 連携の記録 ケース会議については、別途様式に詳しく記入

	期日	連携先及び担当者	状況と課題	具体的支援内容 (学校での取り組みには)
具体的な内容				

10 総合所見

--

個別の指導計画 年間目標と1学期の目標

小学部 年 組 氏名〔 〕

特徴となる性格や行動	
好きなこと、興味関心の強いこと	苦手なこと、配慮しなければならないこと

各種検査から見た重点課題
行った検査/KIDS

総合課題		総合評価	
------	--	------	--

指導時間	項目	児童の実態	1年間の目標 (3学期は、最終目標なので、 検討して変更も可能)	1学期の目標 (3学期は年間目標と重なるので、 削除可能)	具体的な取り組み	評価 (3学期は年間の評価を記入)	来学期の目標 (3学期は来年度の目標)
日常生活の指導	支度	<input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 整理					
	排泄	<input type="checkbox"/> 排泄の予告 <input type="checkbox"/> 手順					
	朝の会 帰りの会	<input type="checkbox"/> 役割 <input type="checkbox"/> 見通し					
	給食	<input type="checkbox"/> マナー <input type="checkbox"/> 食器具の使用					
国語	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 見る						
算数	<input type="checkbox"/> 数量概念						
音楽	<input type="checkbox"/> リズム <input type="checkbox"/> 楽器の操作						
体育	<input type="checkbox"/> 身体の動き <input type="checkbox"/> 調整力						
図画工作	<input type="checkbox"/> 手指の操作 <input type="checkbox"/> 道具の使用						
生活単元学習	<input type="checkbox"/> 見通し <input type="checkbox"/> 判断						
遊びの指導	<input type="checkbox"/> 意思伝達 <input type="checkbox"/> 他者意識 <input type="checkbox"/> 模倣、見立て						
特別活動	<input type="checkbox"/> 簡単なルール や役割意識						
自立活動	健康の保持	<input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善					
	心理的な安定	<input type="checkbox"/> 情緒の安定 <input type="checkbox"/> 状況変化の対応					
	人間関係の形成	<input type="checkbox"/> 他者との関わり <input type="checkbox"/> 集団への参加					
	環境の把握	<input type="checkbox"/> 保有する感覚の活用 <input type="checkbox"/> 認知や行動					
	身体の動き	<input type="checkbox"/> 姿勢と運動 <input type="checkbox"/> 日常生活の基本動作					
	コミュニケーション	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの受容と表出					

個別の指導計画：重複障害児用

<資料4>

個別の指導計画 年間目標と1学期の目標

小学部

年 組 氏名〔 〕

特徴となる性格や行動	
好きなこと、興味関心の強いこと	苦手なこと、配慮しなければならないこと

各種検査から見た重点課題
行った検査/KIDS

総合課題		総合評価	
------	--	------	--

指導時間	項目	児童の実態	1年間の目標 (3学期は、最終目標なので、 検討して変更も可能)	1学期の目標 (3学期は年間目標と重なるので、 削除可能)	具体的な取り組み	評価 (3学期は年間の評価を記入)	来学期の目標 (3学期は来年度の目標)
日常生活の指導	支度	<input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 整理					
	排泄	<input type="checkbox"/> 排泄の予告 <input type="checkbox"/> 手順					
	給食	<input type="checkbox"/> 姿勢 <input type="checkbox"/> 偏食					
生活単元学習							
遊びの指導	<input type="checkbox"/> 見通し <input type="checkbox"/> 判断 <input type="checkbox"/> 意思伝達 <input type="checkbox"/> 他者意識 <input type="checkbox"/> 模倣、見立て <input type="checkbox"/> 簡単なルール や役割意識						
特別活動							
自立活動	健康の保持	<input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善					
	環境の把握	<input type="checkbox"/> 保有する感覚の活用 <input type="checkbox"/> 認知や行動					
	身体の動き	<input type="checkbox"/> 姿勢の保持					
		<input type="checkbox"/> 補助的手段の活用					
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 言語の受容と表出						
	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの手段と選択						